

つくば市の財務書類4表を チェック!! =平成26年度決算=



つくば市イメージキャラクターフックン船長

はじめに

財務書類4表とは、単年度の現金収支のみに着目した決算書とは異なり、これまでに取得した資産・負債等のストック情報を含める企業会計実務をとり入れた決算書であり「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4つの表で構成されています。

貸借対照表

貸借対照表は、現在のつくば市がどれだけ財産を持ち、いくら借金を抱えているのかを、全体像としてとらえた表です。市の資産（土地・建物・資金など）や、負債（借金など）がどのくらいあるのかを一覧にしてあります。左側（資金の使い道）は資産を、右側（資金の調達）は負債と純資産を表し、左右が同額となります。

『つくば市の財務書類4表 P.3 参照』

市民一人あたり、資産が**147万6,000円**
(前年度は、145万3,000円)
 負債が **35万1,000円**
(前年度は、35万5,000円)



※ 平成27年3月31日現在のつくば市の人口は、220,166人

公共資産・・・道路・公園・学校など 家計でいうと・・・自宅・家財など	128万3,000円	負債 ・・・将来世代の負担で返済していく債務	35万1,000円
投資等・・・出資金・特定目的基金など 家計でいうと・・・定期預金・株など	15万4,000円	純資産 ・・・これまでの世代が既に負担した金額	112万5,000円 家計でいうと・・・返済したローン・公的補助など 詳しくは次ページの「純資産変動計算書」へ
流動資産・・・資金・財政調整基金など 家計でいうと・・・普通預金・現金など	3万9,000円		
資産合計	147万6,000円	負債・純資産合計	147万6,000円

行政コスト計算書

行政コスト計算書は、福祉や教育などの行政サービスを行うために必要なコストを計算した表です。純コストは、コストから使用料などの収入を差し引いたものです。

『つくば市の財務書類4表 P.12参照』

市民一人あたり、純コストは**27万2,000円**
(前年度は、26万2,000円)



福祉・保健に
10万8,000円

道路・河川に
3万6,000円

学校教育に
3万6,000円

事務経費に
3万5,000円

清掃・環境に
2万4,000円

消防に
1万5,000円

産業振興に
1万3,000円

借金の利息に
3,000円

議会に
2,000円

純資産変動計算書

純資産変動計算書は、つくば市の純資産（これまでに世代が既に負担したもの）が一年間でどのように変化したのかを示す表です。前ページで紹介した純コストを、どうやって賄っているのかもわかります。

『つくば市の財務書類4表 P.16参照』

市民一人あたり、これまでの世代で
既に負担したものの(純資産)は**112万5,000円**
(前年度は、108万8,000円)



平成25年度末	108万8,000円
純コスト	△27万2,000円
税金など	22万6,000円
国や県からの補助金など	6万2,000円
災害復旧などの臨時的な損失	0円
資産評価替えによる変動*	2万1,000円
平成26年度末	112万5,000円

※ 資産評価替えによる変動について

資産評価のうち、土地については、平成22年度までは、つくば市全体の地目（宅地、山林など）ごとの平均単価を用いていました。
平成23年度から、大字（刈間、谷田部など）ごとに地目の平均単価を用いて評価しています。

資金収支計算書

資金収支計算書は、つくば市の資金が一年間の行政活動によって、どのように変化したのかを示す表です。つくば市の一年間のお金の動きがわかります。

『つくば市の財務書類4表 P.18参照』

市民一人あたり、期末資金の残高は**1万7,000円**
(前年度は、1万9,000円)



詳しくは・・・

市民一人あたりの負債は、前年度から4,000円減少して35万1,000円となりました。また、平成21年度から負債は毎年減少していることから、つくば市の将来世代の負担は減ってきているといえます。

このように、財務書類4表は市の財政状況を知ることができるなど、様々な分析が可能です。『平成26年度決算におけるつくば市の財務書類4表』には、詳細な財務情報や分析が載っていますので、興味のある方は是非ご覧ください。

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
つくば市財務部財政課 TEL 029-883-1111 (代表)